



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト： 軍最高評議会議長を国防相に変更、ほか

1. 軍最高評議会議長を国防相に変更

2月27日、マンスール大統領は、SCAF 議長を大統領から国防相に変更した。軍最高評議会（SCAF）に関する法律（2014年法律第20号）を發布し、同法内で、SCAF の委員数を23名と規定し、SCAF の詳細な権限（国家安全保障政策における軍事的決定）を定めた。憲法200条に基づき、SCAF の権限を詳しく規定した法となる。

SCAF の主な権限としては、例えば、国防相の任命、宣戦布告・軍の国外派遣の検討、戦争の準備、軍の組織構成の決定、国家防衛政策・戦略の策定、軍事訓練、軍関連法案の準備、軍事的脅威に関する報告など。SCAF 議長が国防相となることで、これら諸権限における国防相の影響力が增大することが予想される。

2. 国家防衛評議会に関する法を發布

また同日、マンスール大統領は、国家防衛評議会（Majlis al Difā ‘ al Waṭanī; National Defense Council、以下 NDC）の設置に関する法を發布した。憲法203条に記された NDC の権限をさらに詳しく規定したものとなる。委員は全14名、議長は大統領、ほか首相、代議院議長、国防相、外相、財相、内相、諜報局長官、参謀総長、海軍・空軍・防空軍各司令官、軍作戦局局長、軍諜報偵察局局長が含まれる（文民・軍人比は5:5）。

NDC の権限は SCAF と重複する部分もあるが、NDC には国家安全保障政策における政治的決定権が与えられている。SCAF にはない政治的決定権としては、例えば、軍予算の議論と決定、宣戦布告・軍の国外派遣についての勧告、安全保障政策の検討における政府諸機関・政治組織との調整、条約や合意案の準備・検討、アラブ諸国との軍事協力強化政策の検討など。

（金谷研究員）